

学校関係者評価 報告書

～令和2年度～

学校法人 日本航空学園

(専) 日本航空大学校

1 学校関係者評価委員会の目的

学校関係者評価委員会は、日本航空大学校（以下「本校」と略す）の運営状況（教育理念・目標、教育活動の現状や課題、経営状況、社会貢献など）について学校関係者より意見を聞き、その評価に基づき学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的とする。

2 学校関係者評価委員会委員名簿

規定第2条（構成）	所属	名前（敬称略）
専門分野における業界関係者	株式会社第一システム エンジニアリング 企画管理室 課長	三寄 岳志
専門分野における業界関係者	石川県工業試験場 博士（工学） 電子情報部 部長	前川 満良
保護者	学校法人 日本航空学園 雄飛会輪島会長	松下 直子
地域の公共団体等の関係者	能登空港 ターミナルビル株式会社 代表取締役専務	前田 正彦
地方の公共団体等の関係者	輪島市企画振興部 部長 広域行政連絡室 室長	山下 博之

3 学校関係者評価委員会

日 時：令和4年3月25日（金）13:30～15:00

場 所：（専）日本航空大学校 応接室 および オンライン

出 席 者：学校関係者評価委員会、及び本校事務局側教職員

4 評価対象期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

5 学校関係者評価委員会次第

(1) 開会

浅川学長より挨拶

(2) 出席者確認

各委員 挨拶

(3) 資料確認

評価委員会次第、委員名簿、
日本航空大学校 自己評価・自己点検集計表

(4) 議題

第1号議案 「令和2年度 自己評価報告書」説明および評価

学校関係者評価委員による評価は、令和2年度自己評価の項目ごとに事務局から説明を行い、各委員から評価・意見をいただいた。

（詳細別途）

第2号議案 令和3年度 産学協同教育の実施報告

産学協同教育の説明

第3号議案 その他

「令和2年度 自己評価報告書」説明及び評価

学校関係者評価委員会における評価

評価は、4～1の点数で記載します。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(評価点数は委員の平均値を掲載)

★1. 教育理念・目標

評価 3.8

- ・課題意見「近年、エアライン業界が低迷している」
 - 航空整備科は各エアラインの会社に全員内定している。
 - 航空ビジネス科はJR新幹線アテンドや、ホテル関係などにも内定している。主力は航空業界なので、それを見据えて就職指導を実施していく。
 - 航空整備技術科は建設関係が多く、100%内定している。
 - 航空工学科は堅調であり、重工系や自動車業界、エンジニアリング会社などに内定している。
- ・評価項目「各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか」
 - カリキュラムの見直しを行い、業界ニーズに対応する編成を実施している。

★2. 学校運営

評価 3.4

- ・課題意見「再雇用教職員の人事管理が不十分」
 - 再雇用教職員については年度の面接や希望調査などを実施し、人事管理を強化していく。

✪ 3. 教育活動

評価 3.5

- ・評価項目「人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか」
→本校卒業生の設計技術者が航空工学科教員として着任している。
- ・評価項目「関連分野における業界等との連携において優れた教員の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか」
→ANA ベースメンテナンステクニクスから現役の航空整備士が本校に出向している（本校卒業生）。
→操縦科学生の指導に、現役のパイロット（機長）が毎月来校している。

✪ 4. 学修成果

評価 3.5

- ・課題意見「退学率の低減が図られているか」
→令和3年度は、学生数587名に対して退学者は約20名。約半数が経済的理由。他の理由では新型コロナウイルスによる影響で先行きのことを考えて、進路を航空業界から別の業界に変更など。令和4年度は航空業界の採用が回復する見込み。

✪ 5. 学生支援

評価 3.5

- ・評価項目「進路・就職に関する支援体制は整備されているか」
→進路探求に関する授業を活用し学生の自己分析、企業説明会に参加し企業研究、就職指導部による就職指導、担任による面談・面接指導を実施している。

★6. 教育環境.

評価 3.4

- ・課題意見「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか」
 - CAD 室の端末を最新式に更新し、効率的な授業が実施出来るようになっていいる。CATIA 授業は2グループに分けて1人1台使えるようにして、実習に取り組んでいる。
 - CATIA モデリングデータを3Dプリンターに取り込んで、造形を行っている。

★7. 学生の受入れ募集.

評価 3.6

- ・評価項目「学生募集活動は、適正に行われているか」
 - 募集活動において、卒業学年の就職状況を顔写真付きで書類作成し、学生の出身高校に案内している。
 - 大学校各担任に在学生の近況等を聞き、出身高校の教員に伝えている。

★8. 財務.

評価 3.3

- ・学校経営について
 - 日本航空学園は本部で取りまとめて経営している。

★ 9. 法令等の遵守.

評価 3.6

- ・評価項目「自己評価の実施と問題点の改善に努めているか」
→年度末に大学教職員による自己評価アンケートを実施し、集計している
- ・評価項目「自己評価結果を公開しているか」について
→ホームページで公開している。

★ 10. 社会貢献・地域貢献.

評価 3.3

- ・課題意見「コロナ禍のため、学生の安全を考えてボランティア活動ができない」
→オンライン等でも社会貢献・地域貢献できるような対応を考える。
- ・SDGs に沿った活動などの考え
→環境に関する教育に関しては、新しい科目「環境とエネルギー」を2年生に教育する。これは反転授業で、学生たちが自分で調べてきて、それをクラスの前で発表するというスタイルを取っていく。

★ 11. 国際交流.

評価 3.6

- ・課題意見「日本語能力が低いまま大学に進学し、苦労している学生が見られる」
→文章力を鍛える施策として、授業では漢字を板書して、その上にひらがなを書いて、漢字の書き方と読み方を教えている。さらに、提出されたレポートを確認して、漢字や表現が間違っていたら、指導するようにしている。
→日本語補習授業を開催する。